

事業報告会のご案内「ソテリアでの一年と将来の展望」

指定発言：高木 俊介 先生（たかぎクリニック・ACT-K）

本年度、地域活動支援センターはるえ野では、相談支援、地域交流、退院促進、発達障害や高次脳機能障害への専門支援、ピアサポート等、さまざまな取り組みをおこないました。

事業報告会では、わたしたちの活動の報告をさせていただき、あらたな年度に臨む計画について、みなさまからのご意見も聴かせていただければと願っております。

この法人で運営する、障がい者ケアホーム、就労継続支援 A 型、ホームヘルプ、その他の研究事業などについても、お話しさせていただきます。

また今回は、京都で ACT プログラムを展開していらっしゃる 高木俊介 先生をゲストとしてお招きし、地域精神医療の立場から指定発言をおこなっていただきます。

ぜひ、ご興味をもっていただき、ご参加いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

日時：平成 26 年 3 月 2 日（日曜）13:00－15:00

場所：地域活動支援センターはるえ野 交流室

東京都江戸川区春江町 2-41-8 [JR 小岩駅または都営新宿線瑞江駅よりバス]

報告の内容：

- ・地域活動支援センター「はるえ野」での取り組み

実践) ピアサポートでつながっていく

- ・ケアホーム「東京ソテリアハウス」での取り組み

実践) 精神科薬の多剤大量処方に、どう向き合っているか

- ・就労継続支援「ソテリアエンプロイメント」での取り組み

実践) 症状を持ち合わせながら、賃金を得ていくはたらき

- ・ホームヘルプ「ふれにあ本舗」での取り組み

実践) 精神障がいの体験を、ヒューマンサービスに活かす

- ・その他の研究事業「法的問題をもつ精神障害者への包括擁護モデル事業」

実践) 触法問題にたいし、わたしたちはどうかかわっているか

指定発言： 高木 俊介 先生

精神障がい者の在宅ケアをおこなう ACT を立ち上げるために、2004 年に たかぎクリニックを開設。以降、ACT-K（京都）チームによる訪問サービスに奔走している。

著書に、「ACT-K の挑戦」（批評社）、「こころの医療宅配便」（文藝春秋）、「精神障がい者地域包括ケアのすすめ」（批評社）など。季刊誌「統合失調症のひろば」（日本評論社）の編集委員として、「抗精神病薬の神話—統合失調症に対する薬物療法への盲信から脱するために—」を執筆中。

※ご参加いただける際には、前々日 2 月 28 日までにご連絡をいただきますよう、お願い申し上げます。

☎ 03 (5664) 6070

Fax 03 (5664) 6071

✉ info@soteria.jp

受付：村上 まで